

# 令和4年度 指定管理者制度導入施設の管理運営状況について

都市環境整備課

## 1 施設の概要等

施設名	広島県立びんご運動公園		
所在地	尾道市栗原町 997		
設置目的	備後地域住民のスポーツと多様なレクリエーション活動の振興		
施設・設備	健康スポーツセンター、陸上競技場、テニスコート、野球場、球技場、コミュニティプール、冒険の森、多目的広場、オートキャンプ場など		
指定管理者	5期目	R3. 4. 1～R8. 3. 31	イズミテック・RCC文化センター・シコースポーツ共同企業体
	4期目	H28. 4. 1～R3. 3. 31	イズミテック・RCC文化センター・シコースポーツ共同企業体
	3期目	H23. 4. 1～H28. 3. 31	ボラーノグループびんご
	2期目	H20. 4. 1～H23. 3. 31	ボラーノグループびんご
	1期目	H17. 4. 1～H20. 3. 31	尾道市

## 2 施設利用状況

利用状況	年度	目標値 [事業計画]	入場者数	対前年度増減	対目標値増減 (達成率)
	5期	R4	674,174人	508,427人	107,678人
R3		634,174人	400,749人	△244,777人	△233,425人 (63.2%)
増減理由	4期平均 H28～R2	708,150人	645,526人	△26,419人	△62,624人 (91.2%)
	3期平均 H23～H27	667,914人	671,945人	19,073人	4,031人 (100.6%)
	2期平均 H20～H22	656,450人	652,872人	22,544人	△3,578人 (99.5%)
	2期平均 H17～H19	610,560人	630,328人	43,388人	19,768人 (103.2%)
	(導入前)	—	586,940人	—	—
増減理由	新型コロナウイルス感染症対策が緩和され、競技会等による利用が解禁されたことによる増				

## 3 利用者ニーズの把握と対応

調査実施内容	【実施方法】	【対象・人数】
	調査実施内容	アンケートの実施
利用意見箱の設置		公園利用者(個人) 1780人 スポーツ団体 10団体
調査実施内容	受付、打合せでの聞き取り	スポーツ団体 25団体
	【主な意見】	【その対応状況】
	トイレに和式が多く洋式の数が少ない	令和4年度は健康スポーツセンターを改修実施し、令和5年度はプールのトイレ改修を計画
	多目的広場の利用マナーが悪い	利用団体への注意と掲示物によるマナー向上を図る
イノシシの被害が多い	令和5年度は被害多発施設を優先した対策を計画	

## 4 県の業務点検等の状況

項目	実績	備考
報告書	年度	○ 事業報告書
	月報	○ 月次報告書
	日報(必要随時)	○ 事故報告書等
管理運営会議(随時)	<b>【特記事項等】</b> コロナ禍における利用者減からの回復 <b>【指定管理者の意見】</b> 提案事項の確実な実施と、イベントやキッチンカー導入などの園内の賑わい創出の実施と、施設利用に繋がる広報活動を行っていく。	
現地調査(随時)	<b>【県の対応】</b> 「ひろしま公園活性化プラン」を踏まえ、指定管理者と連携しながら公園の魅力向上に努める。	

5 県委託料の状況

(単位：千円)

	年度		金額	対前年度増減		年度		金額	対前年度増減
	5期	R4	191,629	2,200		5期	R4	65,865	31,202
県委託料 (決算額)		R3	189,429	30,677	料金収入 (決算額)		R3	34,663	△34,623
	4期平均 H28~R2		158,752	10,466		4期平均 H28~R2		69,286	2,225
	3期平均 H23~H27		148,286	△214		3期平均 H23~H27		67,061	1,920
	2期平均 H20~H22		148,500	△18,751		2期平均 H20~H22		65,141	4,993
	1期平均 H17~H19		167,251	△6,508		1期平均 H17~H19		60,148	△1,605
	H16 (導入前)		173,759	—		H16 (導入前)		61,753	—

6 管理経費の状況

(単位：千円)

項目		R4 決算額	R3 決算額	前年度差	主な増減理由等
収入	県委託料	191,629	189,429	2,200	水光熱費高騰分県補填額 24,175 千円 (前年度 <del>コト</del> 県補填 22,322 千円)
	料金収入 (※1)	65,865	34,663	31,202	新型コロナによる施設利用中止がな かったことによる利用増
	その他収入	0	0	0	
	計(A)	257,494	224,092	33,402	
支出	人件費	82,272	82,231	41	
	光熱水費	78,938	47,236	31,702	原油高騰による光熱水費増
	設備等保守点検費	17,091	17,091	0	
	清掃・警備費等	71,902	69,785	2,117	一部施設の時間延長による委託額増
	施設維持修繕費	1,862	2,962	△1,100	R3設置のテニスコート間仕切りネットが不要に なったことによる減
	事務局費	15,978	16,500	△522	広告印刷等削減による減
	その他	3,738	4,903	△1,165	令和4年度保険料を令和3年度に計上 したことによる減 令和3年度物販等仕入値を自主事業支 出に変更したことによる減
計(B)	271,781	240,708	31,073		
収支①(A-B)		△14,287	△16,616	2,329	
自主事業 (※2)	収入(C)	37,738	19,239	18,499	新型コロナ対策が緩和したことによる自 主事業収入の増
	支出(D)	28,451	18,371	10,080	令和3年度物販等仕入値を委託事業支 出から変更したことによる増
	収支②(C-D)	9,287	868	8,419	
合計収支①+②		△5,000	△15,748	10,748	

※1 利用料金制：公の施設の使用料について、指定管理者が直接使用料等を収入することができる制度。  
指定管理者の自主的な経営努力を発揮しやすくする効果が期待され、地方公共団体及び  
指定管理者の会計事務の効率化が図られる。

※2 自主事業：指定管理者が自らの責任で、更なる施設サービスの向上のために提案・実施する事業

## 7 管理運営状況

項目		指定管理者 (事業計画、主な取組、新たな取組など)	県の評価
施設の効用発揮	○施設の設置目的に沿った業務実績	利用者要望により、陸上競技場の照明設備の個人利用料金新設や競技用具購入を行った。また、広報による利用ルールの徹底とトラブル防止を図った。	施設の利用促進やレクリエーションの振興を図るため、施設管理方法を適切に見直した。
	○業務の実施による、県民サービスの向上	年齢やレベルに応じたスポーツ教室を取り入れるほか、スポーツ以外に関心がある方に向けた教室を実施した。キッチンカーの設置による利用者サービスの向上を図った。	子供からお年寄りまでの誰もが参加できる講座や、利用者ニーズに応えたサービスの導入など、公園機能に多様性を持たせる取り組みを実施した。
	○業務の実施による、施設の利用促進	キャッシュレス決済を導入し、利用者の利便性向上を図った。利用件数は想定以上に伸びている。	新たな取り組みを行うことで、利用の促進に努めた。
	○施設の維持管理	駐車場内の区画線の引き直しや、大型遊具の不良箇所修理、各施設の音響設備修繕を行うなど、安全対策や利便性向上のための維持管理を行った。	日々の定期点検を確実に行うことにより、危険性を早期発見し、必要な修繕を行うなど施設維持管理を適切に行った。
管理の人的物的基礎	○組織体制の見直し	異動はあったが、人員や、スポーツ施設管理運営の資格者を増やした。社内研修を実施することで、スタッフのスキルの向上を図ることができた。	人員変更はあったが、研修等により適切な管理水準を保った。
	○効率的な業務運営	共同企業体3社による、ノウハウを集結し、業務の合理化を図った。キャッシュレス決済の導入、会員管理システムの更新により業務の効率化を行った。	広報、スポーツ、建物管理について、共同企業体の強みを活かして運営した。
	○収支の適正	新型コロナウイルスの影響が続く中で、経費の軽減を図り最小限度の収支損に止めた。水光熱費の高騰に対し、節電節水対策と照明のLED化により、可能な軽減対策を実施した。	新型コロナウイルスによる収入減や水光熱費の高騰が続いたが、サービスレベルを維持しながら適切に経営を行った。
総括		改修工事等で利用停止期間のあった施設を除き、感染症対策の緩和による回復傾向が見られた。イベントや各種教室の開催、キッチンカーの展開など、幅広い利用者層への利用促進と利便性向上を図った。	感染症対策が緩和される機会をとらえ、新たな取り組みや既存ストックの維持修繕を実施することにより、施設の利用促進やレクリエーションの振興を図った。

## 8 今後の方向性（課題と対応）

項目	指定管理者	県
短期的な対応 (令和5年度)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○陸上競技場の利用を促進するため、利用者へのPRを強化し客数の増を図る。</li> <li>○既存ストックを活用したイベントを開催し賑わいを創出する。</li> <li>○パラスポーツ体験講座等を行い、幅広い利用者層と多様化社会に対応する。</li> </ul>	「ひろしま公園活性化プラン」を踏まえ、引続き、指定管理者と連携しながら公園の魅力向上に努める。
中期的な対応	<ul style="list-style-type: none"> <li>○現在計画中の球技場の人工芝化による利用競技の拡大等に対応するよう、施設の維持管理体制を強化する。</li> <li>○イノシシの被害には広島県や関係者との連携を密に取り、対策施設の優先順位を考慮しながら対応する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○利用者から高い満足度を得て、魅力向上し続ける公園となるよう、指定管理者と緊密な連携を図っていく。</li> <li>○長寿命化計画や長期修繕計画に基づき適切に施設の修繕等を実施する。</li> </ul>